

区政を聞く 代表質問(要旨)

自由民主党議員団

区民の声をしっかりと聴き、区政に反映させていく取り組みを

令和5年度当初予算案

質問書案の編成に当たり、区長はどのような点を重視し、重点施策と位置付けて編成したのか伺う。

答「DGSをさらに推進し、持続可能な葛飾を実現するための取り組みに予算を重点的に配分した。子育て・教育は、特に力を注ぐべき喫緊の課題として捉え、小中学校の給食費完全無償のほか、出産応援給付金や英語教育の充実など子育て世帯への経済的な支援とともに、教育環境の整備を進める。健康づくり・福祉では、スマートフォンを活用したスポーツや介護予防の事業など、いつまでも健康に住み続けられる取り組みを進める。また、現行制度のほきまにある世帯などが抱える生活上の課題を包括的に受け止めるための取り組みのまことに支援体制の強化を図る。災害対応では、災害拠点病院のBCP策定など、有事の際に迅速に対応できる災害に強い街づくりを進める。産業観光では、集客と集客にそれぞれの特徴を生かした観光拠点を整備し、新たな魅力の構築への取り組みを推進する。環境・街づくりでは、新発着貨物線の旅客化の検討や、環境

に配慮したエコ助成の拡充などを実施する。

問用地特別会計に計上した用地取得は今後期待する効果と課題を明らかにし、区民に丁寧に説明していくべきと思うが、区の見解を伺う。



私学事業団総合運動場

答あらゆる年代の区民がスポーツに親しみ、日常生活の中に運動習慣を取り入れることができる環境づくりを推進するため、私学事業団総合運動場の敷地などを現状のまま取得し、当面、区民の利用に供する。サッカースタジアムの整備はスポーツ振興にとどまらず、地域経済を大きく活性化させることにも、大規模避難施設としての防災面や屋上緑化、太陽光発電などの環境面からも大きな効果をもたらす可能性がある。今後、

かつしか区民連合

持続可能な自治体財政運営とアカデミー構想の創設を

令和5年度当初予算案と持続可能な自治体財政運営

問基金高を確保することについての区長の認識を伺う。

答「基金高は、経済変動に伴う財源不足や災害対応、公共施設の将来的な整備や更新などに備えて計画的に積み立てている。今後も公共施設の更新需要や突発的な災害対応などに備え、積極的に各基金への積み立てを行い、計画的に基金高を確保していくことで財政基盤の強化を図っていく。他の質問項目 財政調整基金高の確保 など」

環境施策の推進

問ZEV化を図った庁用車は、できる限り共用化を図るよう一括して車両を管理し、有効活用していく必要があると考えるが、区の見解を伺う。

答「庁用車をより有効に活用していくためには、一括して車両を管理し共用化するのとともに、点検整備などのメンテナンスも迅速に対応する必要がある。そのため、これまでの導入方法や管理方法を検証し、車両の総合管理を含めリース契約を検討するなど、より効率的な運用方法を考える必要がある。他の質問項目 伝統産業におけるアカデミーの創設 など」

私学事業団総合運動場の敷地取得

問サッカースタジアム建設については、地域や区民側としては、街づくりの議論はほとんどなされていない状況があり、今後、丁寧に傾聴し、意見をとり入れながら対応すべきと考えるが、区の課題認識と今後の進め方の

のうちの、事業者に対しては、求職者の目に留まるような求人方法をアドバイスしているほか、多業種での合同面接を実施するなど、さまざまな形で支援を行っている。しかし、事業者が求める人材と求職者との間では、資格面や経験差など、乖離が求職者に対する応募が少ない状況が続いていると認識している。このことから、引き続きハローワークと連携しながら、求人・求職活動の支援に取り組んでいく。

※他の質問項目 伝統産業におけるアカデミーの創設 など

問サッカースタジアムの建設に向けて私学事業団総合運動場の敷地を活用することについて、先月の総務委員会への庶務報告後、新小岩地域のまちづくり協議会や同運動場に隣接する自治町会に説明したところである。サッカースタジアムは、騒音や交通環境をはじめ地域住民の生活に大きな影響を与える可能性があるため、現時点では具体的なスケジュールを

考えを伺う。

答「サッカースタジアムの建設に向けて私学事業団総合運動場の敷地を活用することについて、先月の総務委員会への庶務報告後、新小岩地域のまちづくり協議会や同運動場に隣接する自治町会に説明したところである。サッカースタジアムは、騒音や交通環境をはじめ地域住民の生活に大きな影響を与える可能性があるため、現時点では具体的なスケジュールを

区政を聞く 一般質問(要旨)

自由民主党議員団

区民生活や区内経済の向上に向け地域の実情に即した対策を

区内産業の現状に鑑みた契約制度のあり方

問区内産業支援策として、現在の公契約条例を理念条例から脱却し、実効性のあるものに歩みを進めていくべきと思うが、区長の見解を伺う。

答「自治体では、公契約条例に基づき、公契約における最低賃金を定めている事例もある。こうした先進事例を参考に、関係者の意見を伺いながら、労働者、事業者、区民にとって最も良い取り組みを実施していく。他の質問項目 業務委託の最低制限価格制度の対象拡大 など」

問亀有地域観光拠点施設整備の現在の状況と、今後の展望について伺う。

答「本年1月に基本設計に係る住民説明会を開催した。令和5年度から6年度にかけて、建築工事及び展示物制

度にかけて、建築工事及び展示物制

度にかけて、建築工事及び展示物制

交通環境や騒音対策の課題について、地域住民に丁寧に説明し、意見を伺いながら解決を図り、区議会、地域住民と一体となって検討を進め、地域の誇りとなるサッカースタジアムを整備していきたいと考えている。

※他の質問項目 予算案の特徴 など

をはじめての取り組みを継続し、切れ目のない支援につなげていく。今後も、他自治体に先駆けた革新的な取り組みにチャレンジしていく。

※他の質問項目 子育て支援策の現状と課題認識 など

力を入れて予算編成されたのか伺う。答「区内では、特別区交付金が原資となる市町村住民税法人分の堅調な推移に加え、児童相談所設置に伴う関連事務に係る加算などの増を見込んでいる。また、景気が緩やかに持ち直していることから、特別区税や地方消費税交付金などを合わせた一般財源全体でも増額を見込んでいる。歳入面では、子育て支援・教育環境の充実、子どもを育てやすい環境の整備、教育環境の整備を進め、区独自の子育て支援策を推進していく。

※他の質問項目 感染症対策 など

向け、どのように財源を確保していくのか、区の見解を伺う。

答「社会の変化を見極めながら、経営改革の取り組みを一層推し進めデジタルトランスフォーメーションの導入などによる業務効率化を進めることにより、一般財源を確保していきたいと考えている。

※他の質問項目 特色ある幼児教育の推進事業 など

高める必要がある。区の見解を伺う。答：母帯のまるごと支援は、区と地域が一体となり取り組む課題であり、全ての人の健康と福祉を促進する姿勢を内外に示すことは重要である。課題を整理し、条例制定も検討する。

子どもの権利を守る仕組みづくり

問：本区は、本年10月に子どもの権利条例の制定を目指すとのことだが、制定する目的について伺う。

答：保護者、区民等の役割や責務、子どもに関する取り組みの方向性、救済の体制の整備といった内容を明確にし、地域全体で子どもの権利を擁護する体制を構築することである。

新金線の今後の展望

問：今後50年、100年先まで区民に親しまれ、喜んで利用される路線にしてほしいと思うが、区の考えを伺う。



新金線 試乗体験会(細田一丁目付近)

答：スポーツ事業、観光、その他、地域のニーズを踏まえた街づくり全体を盛り上げる取り組みを進めていく。

区民のための総合的な施設整備と特別支援教育の一層の充実

問：どのように公共施設のマネジメントを進めていこうと考えているのか。答：公共施設等経営基本方針に基づき、

施設の使われ方や施設状況のチェックを繰り返し、問題点や課題を抽出し改善策の実行につなげる。こうしたマネジメントサイクルを活用し、維持管理や利便性の向上など、適切な施設マネジメントを推進していく。

特別支援教育の取り組み

問：障害のある子どもの将来の自立と社会参加を見据え、一人一人の教育的ニーズに的確に応じる指導が重要であると考えるが、区の見解を伺う。

答：各学校では、個別の教育支援計画や個別指導計画を作成し、支援に取り組んでいる。教育委員会は、学校が計画に基づいた指導内容の評価を適切に行い、学校と児童・生徒、保護者などが学習状況を共有し効果を高められるよう助言・指導を行っていく。

GX(グリーントランスフォーメーション)の取り組み

問：GXの取り組みの推進について伺う。答：関連法案や技術革新などの動向を注視し、再生可能エネルギーの導入などを進めるとともに、区民、事業者との連携を強化し取り組んでいく。

区個人情報と公文書管理

問：公文書管理条例の制定に向けての見直しを伺うとともに、専門家の関わりについて伺う。

答：公文書に関する規定の点検などを実施しており、令和5年度中にアーキビストなどの専門家からなる準備委員会を設置し、意見を伺い、庁内全体で調整しながら、令和6年度に条例を施行できるように進めている。

かっしか区民連合

問：専門性の高い公文書の記録化とソーシャルキャピタルの醸成を

※他の質問項目 個人情報の取り扱い など

将来を見据えた立石のまちづくり

問：記録・記憶の継承のため、立石駅の図面や地区内の地図の保存、商店の看板や踏切の警報器などをモニタメントとして保存するなど検討してはどうか。



工事が進む立石駅前

答：立石駅の図面や地区内の地図などについては、関係部署の協力を得ながら、文化的価値や所有者の意向などを確認した上で、保存や活用について検討する。

誰一人取り残さない「くらしのまるごと支援」体制

問：ケアラー支援やくらしのまるごと支援体制を位置付ける条例の制定を検討すべきと考えるがどうか。

答：くらしのまるごと支援事業を進める中で、課題を整理し、より効果的な事業となるよう検討を進めていく。

子どもの権利と子ども・子育て・若者支援体制

問：子どもの権利条例制定には、子どもなどの意見を十分に反映させるための取り組みを進め、条例制定後は子どもや子育て支援団体などと協働で子どもを支援すべきと考えるがどうか。

答：条例案の作成に当たり、子どもなどの意見を改めて聴取し、反映した上でまとめていきたいと考えている。また、各施策における子どもの権利の保障状況について把握し、検証を行う会議体の設置を検討していく。

※他の質問項目 個人情報 環境政策

誰一人取り残さない学びのための教育環境整備

問：開かれた学校を目指すために学校ごとに校則の検討状況をホームページなどで示すべきと考えるがどうか。

答：各校長に対し、令和5年4月からホームページに校則を掲載するよう指示した。また、各学校に対し、児童・生徒や保護者の意見を踏まえて校則の点検や見直しを行うよう指導・助言を行っている。

日本共産党葛飾区議会議員団

問：葛飾区立図書館の基本的な考え方に子ども読書推進計画の要素も取り入れ、さらなる読書習慣の定着・推進につなげていく。

若者への支援

問：本区の奨学金貸付制度を、思い切った給付型奨学金制度に転換すべきと思うがどうか。

答：現時点では給付型奨学金制度への転換は考えていないが、国や都の動向を注視していく。

無所属(※8)

問：実効性ある制度設計と将来を見据えた事業展開を

公契約条例

問：公契約条例を実効性のあるものにするために、賃金条項を入れることを求める。現在の検討状況と本区の考えについて伺う。

答：本区では、さまざまな契約制度の改正を実施してきた。引き続き先行事例を研究し、関係者の意見を伺いつつ最も良い取り組みを実施していく。

※他の質問項目 若者サポートステーションの開設 など

児童相談所

問：夜間の一時受け付けは委託となっているが、職員とすべきと思うがどうか。また、来所は原則電話予約となっているが、来所にも対応できる職員体制とすべきと思うがどうか。

答：職員が受け付けを行う考えや来所対応の窓口開設の想定はしていない。児童の利益確保のための業務は行う。

針 一

問：葛飾区学校適正規模等に関する方針 児童・生徒の言葉にすることができない、学校に行かない・行けない理由を丁寧に解きほぐしていく必要があると思うがどうか。

バス交通

問：循環バス10路線の検討等について、細田循環バスが3年間の試行となっているが、検討ばかりでは住民の足は確保できない。思い切って残り9路線の実証実験に踏み出すべきと思うがどうか。



運行停止中のバス停

答：今後もそれぞれの実情に合わせて、適切な時期に検討を行っていく。

※他の質問項目 区内南北交通 など

バス交通

問：リリオ亀有リノベーション事業 2028年度以降、事業をどのようにしていくのか検討はされているのか。されれば、どのような検討がされ、意見が出ているか伺う。

答：本人の希望や願いなども含め、本人に寄り添った支援を行えるよう学校に対し、指導・助言を行っていく。

バス交通

問：バス交通 循環バス10路線の検討等について、細田循環バスが3年間の試行となっているが、検討ばかりでは住民の足は確保できない。思い切って残り9路線の実証実験に踏み出すべきと思うがどうか。



リリオ亀有

答：来年度に向け、集客が見込める展示の充実や7階共用部のさらなる活用などについて協議を進めている。また、令和10年度以降の在り方は、取り組み効果などを踏まえ、関係機関と協議していく。